

ピアホームだより

2024. 2. 10

災害弱者を考える

2024年1月1日に能登に大きな地震が起き、とてつもない大災害になってしまいました。能登は我が故郷、壊れた故郷を見ることは、本当に悲しい。

どうして、こんなひどい災害になってしまったのか？

勿論、地震の規模が大きく、1000年に一度という隆起があつて、道路も凸凹になって近づけこともできなかった—ということが大きいのかもしれません。が、地震の規模に比し家屋の倒壊がすぎましい。

都市にばかり富が集まるような政策の中で、国土の均等な発展は声ばかり、辺鄙な田舎は切り捨てられ、極端な少子高齢化のあおりで鉄道もなくなり、インフ

ラも劣化、若者は不便な田舎を捨てて都市部へ流入して行った。私も、、、

昔は、代々行ってきた家の修繕・建て替えさえ行えなくなって、脆弱な建物だらけになっていたからでしょう。

ネットでは、珠洲市のような辺鄙なところに住むから、余計な行政出費が嵩むという意見すら見うけられました。

人が生きるということを考えたこともないなんと心貧しい意見であろうか！

新自由主義の行き過ぎた民営化と公共破壊、競争至上主義がこんな殺伐とした社会を現出させているのではないかと思う。障害者も非効率な存在と捨てられてはたまらない。

奢ってはいけない！！利益さえ上げれば何でも経済発展といって大仰に価値づけてお金をつぎ込み、必死に生きている人の暮らしを蔑ろにする！社会を底辺で支える人達からどんなに恩恵を受けていることか考えてみるべきだ！

お互いさまではないか！

自らも高齢者になり、障害者になって生きる時が必ず来る！弱い人が安心して

暮らせる社会、こんな社会が理想なんじゃないですか！効率の悪いものを切り捨てる社会でいいのですか！

災害と障害者

障害者施設では、災害対応に特別な注意を払っています。

グループホームでは、防災マニュアルを作成し、避難訓練も課されています。遅まきながら、福祉避難所の存在を知りましたが、板橋区では場所が明らかでないし、どのようなものなのでしょう？

火事に対しては、自動火災報知機の設置が義務付けられ、毎年2回のチェックも行っています、ついつい、面倒になってしまいそうですが、今回の災害で考えさせられてしまいました。

関東大震災の際に起きた福田村事件が掘り起こされました、災害時は足手まといとして、弱者にもそんな目が向けられることがあるでしょう？社会の在り方を平常時から弱者目線を取り入れて変えていかねばならないと思います。

2月の予定

2月3日：事例検討会